

2023年度事業報告

- 1 事業の成果 路上生活者及び生活困窮者等の自立支援に関する活動、地域住民に対する路上生活者等についての啓発活動、路上生活者の健康維持のためのパトロール活動、他団体との連携に関する事業のいずれも着実に実施することができた。

2015年度からは、相模原市と協定を結び、シェルター4室を確保して相談・訪問事業を実施し、各区の生活支援課や子育て支援センター等とも連携を密にしながら、多くの路上生活者や生活困窮者等の自立につなげる活動を行うことができた。生活困窮者の中には、高齢者やDV被害者、心身障がい者などのほか、外国籍の住民も含まれる。

新型コロナウイルスの影響は、シェルター運営やパトロール活動にはさほどの支障はなかったが、元シェルター利用者等を招いての食事会は1回しかできなかった。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 路上生活者及び生活困窮者の自立支援に関する活動

ア アパート入居等支援

- ・内 容 各区生活支援課との連絡、不動産会社の手続き、引越し手伝い等
- ・件 数 21件
- ・従事者人員 1回3人～5人
- ・対 象 者 路上生活者及び生活困窮者
- ・支 出 額 1,896円

イ 相談、訪問事業

○相談室の運営、ケースカンファレンス（市との協定事業）

- ・内 容 相談室の運営とケースカンファレンスの実施
- ・件 数 対面相談 97件 電話相談（相談室）174件 電話相談（携帯）439件、メール相談3件 ケースカンファレンス11回
- ・日 時 相談室は毎週月曜日～金曜日、ケースカンファレンスは毎月第4土曜日
- ・場 所 相談室ほか
- ・従事者人員 11人
- ・対 象 者 路上生活者、生活困窮者、シェルター入居者等
- ・支 出 額 2,457,777円（972,319円+1,485,458円）

ウ アパート入居者訪問

○入居者訪問（市との協定事業）

- ・内 容 アパート入居後の状態について話を聞き、必要に応じて高齢者支援センター及び関係機関に繋ぐ等の生活支援をした。
- ・日 時 随時
- ・場 所 入居者宅、病院など
- ・従事者人員 10人
- ・対 象 者 アパート、グループホーム等入居者など、延べ 445 件
- ・支 出 額 272,987 円 (47,477 円+225,510 円)

○食事会等

- ・内 容 お弁当と衣類ほか靴、雑貨類提供
- ・日 時 2023年7月16日(日) 15:00~17:00
- ・場 所 翠ヶ丘教会2階ホール
- ・従事者人員 6人
- ・対 象 者 シェルターからアパートに入居した人等 6人出席
- ・支 出 額 28,349 円

エ 「シェルター木パト」の運営（市との協定事業）

- ・内 容 シェルター4室の運営
- ・日 時 随時
- ・場 所 市内アパート
- ・従事者人員 15（相談員10人、掃除班4人、警備1人）
- ・対 象 者 路上生活者及び生活困窮者 21人(+子ども3人)
- ・支 出 額 2,850,796 円 (2,610,796 円+240,000 円)

② 地域住民に対する路上生活者についての啓発活動

ア 市民及び相談員向け学習会

- ・内 容 「神奈川の国際化とこれから」
講師：神奈川新聞社川崎総局 石橋 学記者
共催：葦の会・木パト
- ・日 時 2024年2月24日(土) 13:30~16:00
- ・場 所 さがみはら国際交流ラウンジ
- ・対 象 者 市民及び各団体の相談員
- ・参 加 者 8人

・支出額 20,000 円

イ その他の啓発活動

その1

・内容 ニュースレターNo. 28、No. 29 発行
・日時 2023年6月1日No. 28、2023年12月1日No. 29
・場所 木パト事務所
・従事者人員 7人
・対象者 一般市民
・支出額 70,880 円

その2

・内容 ホームページの運営
・日時 年間
・従事者人員 1人
・対象者 生活困窮者 一般市民
・支出額 32,775 円

③ 路上生活者の健康維持のためのパトロール活動

ア 路上生活者訪問

・内容 路上生活をしている方々を訪問して健康状態等の話を聞いた。（持参品：おにぎり、スープ、バナナ、みかん、菓子、果物ジュース、下着、上着、靴、靴下、カイロ等）
・日時 毎月第2・第4木曜日 22時15分から
・場所 相模大野駅、ポーノ相模大野他
・従事者人員 延べ約200人
・対象者 路上生活者（延べ約180人）
・支出額 6,376 円

イ 炊き出し及び訪問物資の調達

・内容 おにぎり、豚汁、ゆで卵、バナナ、みかん、日用品などを準備
・日時 毎月パトロール時
・場所 翠ヶ丘教会台所で調理
・従事者人員 毎回3～5人
・支出額 129,872 円

④ 路上生活者に関する調査・研究

ア 全県夜回りパトロール交流会

- ・内 容 神奈川県下のパトロール団体のメンバーとの情報交換
- ・日 時 隔月 1 回
- ・場 所 各地持ち回り
- ・従事者人員 毎回 1～4 人
- ・対 象 者 他団体、一般市民
- ・支 出 額 4,040 円

⑤ その他

- ・毎週、近くの八百屋さんのご好意でいただいた野菜や果物を、シェルター入居者、アパート入居者等に提供
- ・毎月 5 日 「こめんず」から提供を受けた食品等を、シェルター入居者、アパート入居者等に提供
- ・社会福祉協議会から提供された保存食サポートセット、パンの缶詰、ビスケット、生理用品、フードコミュニティから提供された非常食ライスなども、提供した
- ・相模中央キリスト教会社会委員会からの「分かち合い」の食品等をアパート入居者等へ届けた。シェルター入居者にも提供した
- ・市生活福祉課、コロナウイルス対策課から提供された、布団・枕・カバー類、座卓・座椅子を、希望するアパート入居者に届けた。シェルターの居室でも使っている。
- ・その他、支援者から頂いた、衣類や家具類など、必要な人に随時提供している。

以 上